

### 近視は多く なっている

日本は近視の多いことで世界で、戦前では小学校でも二十七八ぐらいありましたが、戦後年とともに増加しています。とくに高校に最近非常に多くなり、大学で三人に一人、高校で四人に一人の割合で近視になっています。

灯下親しむ候、大いに勉強していただきたいのですが、近視の予防に次の点を注意して下さい。  
①近視の多い家同志の結婚はなるべく避ける。

②読み書きは姿勢を正しく、書物は三千〜四十センチのところに置いてみる。

③暗いところで読まないこと、夜の読書は机上のスタンドに六十ワットの電球をつけるか、螢光灯スタンドなら四十ワットのを用いれば大体よい明るさになる。

④長時間夜業をするときは、一時間十分ぐらい休養する。

⑤学習以外のときは戸外で運動をする。⑥年に一度視力の検査をして、近視ならば専門医の検査をうけ、

二日夕、ハバロフスク着、三日ピオニール(少年団)会館見学。ソ連政府は、子供達の校外教育にも非常に力を入れているのを知った。その後託児所幼稚園を見学。月曜日の朝から土曜日の夕方まであづかる子

### ソ連医者の旅

今井 泰 男

十月五日 乗船、予定  
色を瞥見する。

この子らは朝食、昼食と、おやつを給食される。もちろんあやしげな脱脂粉乳などではなく、牛乳は新鮮な生乳を飲んで居る。また子供達は毎日医師の診察を受ける。ハバロフスクを出発する直前わ

みんなの広場

正確な度で左右のレンズ間隔と眼の間隔とが合ったメガネをかけること。

### 「写真」コンテスト

市内の写真材料店の協力を得て、報道写真のコンテストを行います。

### 応募規定

▽題 材 ①南国で行なわれた行事 生活、季節、ニュースなどを中心としたもので、

▽サイズ ①キャビネ版、(題名、撮影場所、及び簡単な説明を添付すること)

▽応募資格 ①市内に住居、または勤務先を有するもの。

▽入選作 ①優秀一点、二千円 佳作若干点、記念品

▽締 切 ①五月末

▽送付先 ①市役所庶務係、または協力店へ。

写真機、写真材料のご用は、信用あるコンテスト協力店へ。



ソチ コルホーズの市場にて

高き人道的使命にのみ生きることを、またこのようない医療従事者に全然費用の心配なく(だれでも無料で医療が受けられる)、自分の健康をゆだねることが出来るソ連の人たちは何と云う幸福だろう。私達のめざすのはこのような医療制度ではないだろうか。ソ連の人たちがそうしように、どんな困難があっても私達自身でみんなと力を合して、かちとって行かねばならないということであった。

訪ソにあたり、また私の留守中種々お世話になった南国市の方々にあつく御礼を申し上げます。

命と、健康を守るといふ本来の崇  
命と、健康を守るといふ本来の崇  
が出来るといふのは、何と云うらや

### 現像・焼付け・写真のことならすべてに信用のある

朝日町(警察署東)

後免町(四銀東4軒)

後免町中町

後免町中ノ丁

田内カメラ店 池本写真店

山崎  
写真館技術部

春和堂写真部

TEL(南国) 2454

有線 343-17

有線 162-1

TEL(南国) 2354

TEL(南国) 2029

有線 159-11